

### 第三者評価結果入力シート（母子生活支援施設）

種別	母子生活支援施設
----	----------

#### ①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターさが
----------------

#### ②評価調査者研修修了番号

No.SK2021266
No.SK2021267

#### ③施設名等

名称	いつくしみの苑
施設長氏名	光岡 清隆
定員	20 世帯
所在地(都道府県)	佐賀県
所在地(市町村以下)	佐賀市高木瀬西三丁目3番31号
T E L	0952-37-1943
U R L	
【施設の概要】	
開設年月日	2017/4/1
経営法人・設置主体(法人名等)	社会福祉法人 聖母の騎士会
職員数 常勤職員	10名
職員数 非常勤職員	3名
有資格職員の名称(ア)	社会福祉士
上記有資格職員の人数	3名
有資格職員の名称(イ)	保育士
上記有資格職員の人数	3名
有資格職員の名称(ウ)	
上記有資格職員の人数	名
有資格職員の名称(エ)	
上記有資格職員の人数	名
有資格職員の名称(オ)	
上記有資格職員の人数	名
有資格職員の名称(カ)	
上記有資格職員の人数	名
施設設備の概要(ア)居室数	21
施設設備の概要(イ)設備等	IHコンロ、エアコン、給湯器、照明
施設設備の概要(ウ)	
施設設備の概要(エ)	

#### ④理念・基本方針

1 カトリックの愛と奉仕の精神で、一人ひとりの命を大切にし、すべての人の幸福を願う。  
 2 キリストの母マリアの心で、心身において助けを必要としている人々のかたわらに寄り添う  
 基本方針 入所者様がいつも笑顔で、安心して生活できるよう支援を行い、一日でも早く自立できるような支援を行います。

#### ⑤施設の特徴的な取組

- 1 施設PRのため、年間を通じて県内外の福祉事務所訪問活動を行っている。
- 2 公用車5台で、入所者の送迎・同行支援を行っている。
- 3 職員のスキルアップを目指して計画的に各種研修に参加している。
- 4 ワークライフバランスに配慮した職場づくりを目指している。

#### ⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間(ア)契約日(開始日)	2023/1/6	
評価実施期間(イ)評価結果確定日	2023/3/17	
前回の受審時期(評価結果確定年度)	令和元年度(和暦)	

## ⑦総評

### 【特に評価の高い点】

- ・会計・経理、事務処理等の施設運営に関する諸規程類が整備され、内部監査、自治体の指導監査や運営協定に基づく監査結果や指摘事項等についての改善策の実施など適正な運営に努められている。
- ・母子に対する支援利用に関する情報提供については、施設の見学とともに苑のしおりやパンフレットを配布して、理念・基本方針、自立支援の内容等を説明し、周知に努められている。
- ・自立支援計画は、関係職員参加の下、これまでの支援の実施のアセスメント評価結果や母子の意向、福祉事務所や児童相談所を初めとする関係機関の意見等も踏まえて適切に策定されている。また、自立支援計画は半年毎又は必要に応じ見直しが行われており、評価、策定の手順等を踏まえ適切に行われている。
- ・母子の権利擁護に関する取り組みについては、入所者の意向尊重、個人の尊厳を守り、自立を目指した支援を行うとの運営基本方針の下、運営規程やプライバシーの保護、虐待やハラスメントの防止、苦情処理等の諸規程類が整備され、職員研修や日々のミーティングで徹底され、実践されている様子が毎日の業務日誌の記録等からもうかがえる。
- ・入所に際しては、福祉事務所や保育所・学校等の関係機関と連携を密にし、施設見学や面談等を踏まえて自立支援計画が策定され、必要に応じて生活用具の貸出しや日常生活に関する地域資源の情報提供、関係機関への手続き支援などの確に支援されている。
- ・母親と子どもの緊急利用については、緊急一時保護受入れマニュアルを定め、福祉事務所や警察等と緊密に連携しながら緊急一時保護等に適切に対処されている。
- ・母子の安全確保のためDV防止法に基づく保護命令措置や支援が必要な場合は、警察署や裁判所、弁護士等の関係機関と連絡を密にし、法的手続きのための同行、代弁、事例に応じて他施設への転居等の支援が適切になされている。

### 【改善を求められる点】

- ・施設として期待する職員像は明確にされているが職員個々人の目標管理のための仕組みが構築しているとは言い難い。職員一人ひとりの育成に向けた取り組みの充実が望まれる。
- ・学習ボランティアの来訪が以前はあったが現在は途絶え、ボランティアの受け入れが今後の課題とされている。ボランティアの受け入れに当たっての基本姿勢や取扱い等についてマニュアル等を定め、明確にしておくことが望まれる。
- ・地域の福祉ニーズ等の把握については、地域の自治会に加入し、地域行事への参加、民生児童委員や子供会活動の施設利用等の取り組みがなされており、今後とも、入苑者のプライバシー保護に配慮しながら取り組まれることを期待したい。
- ・苑のしおり等での説明・周知とともに、意見箱の設置、プライバシー保護に配慮した面談室の整備など相談や意見が述べやすい環境づくりに配慮されている。今後とも、職員誰にでも福祉事務所を初め、施設職員以外の人にも相談等ができることの周知が図られるよう望みたい。
- ・子どもの年齢・発達段階に応じた性教育や思いやりの心を育む取り組みについては、現在、助産師の採用を検討されており、今後の取組みが期待されるが、児童相談所や学校を初め、関係機関や外部の専門家の活用等もしながら支援の充実がなされることを望みたい。

## ⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

入所者への支援業務に関して高い評価をいただいたことは、職員一同大変嬉しく思っています。高い評価をいただいた分野については、今後の職員の業務へのモチベーションアップにつながるものと思います。改善を求められた点については、関係機関や地元自治会等が、施設運営にとっての大切な資源であることを再認識して関係性の改善に務めていきたいと考えています。

## ⑨第三者評価結果（別紙）

## 第三者評価結果（母子生活支援施設）

### 共通評価基準（45項目）Ⅰ 支援の基本方針と組織

#### 1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		第三者 評価結果
①	1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
	<input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	○
	<input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、母親と子どもへの周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	
【コメント】		
理念・基本方針は、パンフレットや苑のしおり等に登載されるとともに苑内に掲示され、職員のパソコンで閲覧・印刷可能であり、職員研修等で周知されている。また、定期的に母の会等で説明・周知がなされている。一方で、理念や基本方針の周知状況については、特に確認を行っていないので、今後は継続的に周知状況を確認されるよう期待したい。		

#### 2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に対応している。		第三者 評価結果
①	2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
	<input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの数・母親と子ども像等、支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする母親と子どもに関するデータを収集するなど、施設(法人)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に支援のコスト分析や施設入所を必要とする母親と子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	○
【コメント】		
社会福祉協議会や要保護児童対策協議会で経営環境や母子支援に関する情報の把握に努めるとともに県域を超えて広域的に情報の収集、施設の紹介等に取り組まれている。一方で、母親と子どもの数や、潜在的なニーズ等のデータを収集、分析等は行っていないので、今後の取組に期待したい。		
②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a
	<input type="checkbox"/> 経営環境や支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	○
【コメント】		
経営課題や改善に向けた実践計画については、職員会議で検討し、役員会でも議論され、具体的な取り組みがなされている。		

### 3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	○
【コメント】 中・長期計画が定められ、目指すべき方向性を明確にされ、必要に応じて論議・見直しながされている。今後は、中・長期計画に関して、具体的な数値目標や成果等を設定し、実施状況の評価を行える内容にされることを期待したい。		
②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	
【コメント】 施設所在地の自治体との運営協定に基づく運営協議会での論議も踏まえて毎年度の事業計画が策定され、実行可能な内容のものが策定されている。今後は、単年度の事業計画においても中・長期計画と同様に具体的な数値目標や成果等を設定し、実施状況の評価を行える内容にされることを期待したい。		
(2) 事業計画が適切に策定されている。		
①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	
	<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等が)されており、理解を促すための取組を行っている。	○
【コメント】 事業計画は、職員会議等での論議・検討を経て策定され、周知されるとともに、その実施状況の把握、評価も同様に行われている。一方で、事業計画を定める時期等、明確に設定されていないので、今後は施設として事業計画を定める時期や手順等を設定されることが望まれる。		
②	7 事業計画は、母親と子どもに周知され、理解を促している。	b
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、母親と子どもに周知(配布、掲示、説明等)されている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を子ども会や母親会等で説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、母親と子どもがより理解しやすい工夫を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画については、母親と子どもの参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	
【コメント】 事業計画の概要は、毎月開催の母親の会で説明、周知されるとともに、行事等への参加を促すべく苑内に掲示されているが、今後とも、より一層わかりやすい資料の作成等に期待したい。		

#### 4 支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者 評価結果
①	8 支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
	<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく支援の質の向上に関する取組を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 支援の内容について組織的に評価(C: Check)を行う体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	○
【コメント】		
支援内容や内部監査結果、第三者評価結果等については、職員会議やケース検討会議等で検討するとともに毎年の施設長による職員面談で気付き・振り返り・評価を行い、支援の質の向上につなげる取り組みがなされている。今後とも、PDCAサイクル体制を確立し、組織的取り組みをなされることが望まれる。		
②	9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	
<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。		
【コメント】		
評価結果に基づく課題等については、職員会議等で検討され、改善策等が講じられているが、今後は、改善策の計画的な取り組みの進捗状況と必要に応じて改善計画の見直し等の状況を明確にしておくことが望まれる。		

## II 施設の運営管理

### 1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		第三者 評価結果
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	
【コメント】		
施設長は、自らの役割と責任を認識され、施設の経営管理に臨まれており、職務分掌、権限等についても定められている。現在、施設長を補佐する主任職の任命を検討課題とされており、施設長不在時の権限委任等を含め明確にしておくことが望まれる。		
②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	○
【コメント】		
施設長は各種会議や研修会等に参加し、遵守すべき法令等の把握・周知・遵守に努められているが、施設運営、母子福祉事業に關係する法令を初めとして遵守すべき関係法令は広範・多岐に及ぶのでこれらのリスト化を行い、職員への周知を図る取組が望まれる。		

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

①	12 支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	○
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	○

【コメント】

施設長は、各種会議や研修会等に参加し、自己研鑽に努めるとともに職員研修や実務を通じて支援の質の向上に努められている。今後とも、質の向上に向けた定期的な評価・分析等の取り組みの充実が望まれる。

②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	

【コメント】

施設長は、施設の経営状況、課題等を踏まえ、夜間当直職員の配置等の経営の改善や業務の実効性を高める取組を進められている。今後とも、引き続き、広域的な施設の紹介・案内を初め、職員一体となった取組がなされるよう期待したい。

## 2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

第三者  
評価結果

①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	
	<input type="checkbox"/> 支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	○
	<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	○
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	○

【コメント】

母子支援員、少年指導員、個別対応職員、保育士等の必要な福祉人材が確保され、各種加算職員の配置に積極的に取り組まれている。現在、助産師の採用を検討課題とされており、今後一層の人材の確保・育成に向けて取り組まれることを望みたい。

②	15 総合的な人事管理が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができています。	○
	<input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進、昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	
	<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	
	<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	○

【コメント】

施設の理念・基本方針は明確にされ、職員への周知も図られており、職員面談等を通じて職員の意向等の把握もなされているが、人事基準等の一層の明確化とともに自己評価等を含めた評価・分析の取組が望まれる。

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。	
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	
	<input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	

【コメント】

職員の心身の健康管理、各種休暇の利用促進を初め、職員会議会議等での意見交換など働きやすい職場環境づくりに配慮されている。今後とも、外部の専門家の活用等もしながらメンタルヘルス等にも配慮した働きやすい職場環境づくりがなされるよう期待したい。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	c
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	

【コメント】

施設として期待する職員像は明確にされているが職員個々人の目標管理のための仕組みが構築しているとは言い難い。職員一人ひとりの育成に向けた取り組みの充実が望まれる。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 現在実施している支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	○

【コメント】

複数年にまたがる継続的な研修など施設内外での研修・教育が実施されている。今後とも、必要とされる専門資格や専門知識等を考慮した計画的な研修・教育の実施とその評価見直しの仕組みの構築が望まれる。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	b
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	○
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	

【コメント】

階層別、職種別、専門職等の施設内外での研修の機会が確保されているが、今後とも、職員間で学び合うスーパービジョン体制の確立等の取り組みの充実が望まれる。

①	20 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
	<input type="checkbox"/> 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	
	<input type="checkbox"/> 実習生等の支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	○
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	○

【コメント】

大学生等の実習生の受け入れが粉われているが、受け入れに当たっての基本姿勢やマニュアル等が明確化されていない。これらを明確化し、指導体制の確立が望まれる。

### 3 運営の透明性の確保

(1)	運営の透明性を確保するための取組が行われている。	第三者 評価結果
①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	
	<input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の実態や役割を明確にするように努めている。	
	<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	○

【コメント】

理念や基本方針等は、苑のしおり等で入苑者や関係機関・関係者に対し、しっかりと公開されているが、利用者のプライバシー保護の観点から支援の内容等の公開には配慮した取扱いとされている。また、施設としてのホームページは今後設置する予定との事なので、施設の理念や基本方針、支援内容、事業報告、予算、決算情報等が掲載される事が望まれる。

②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	○

【コメント】

会計・経理、事務処理等の施設運営に関する諸規程類が整備され、内部監査、自治体の指導監査や運営協定に基づく監査結果や指摘事項等についての改善策の実施など適正な運営に努められている。



#### 4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果
①	23 母親、子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの個別状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設や母親と子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の母親と子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	○
	(母子生活支援施設) <input type="checkbox"/> 学校の友人等が施設へ遊びに来やすい環境づくりを行っている。	○
【コメント】 地域行事への参加、苑庭の地域利用、買い物や遊び等の日常生活での地域資源の活用など地域との交流にも配慮されているものの、母親と子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションについては、あまり行われていない。施設の特性上もあるが、施設が地域社会の一員としての社会的役割を果たすためにも母親と子どもの地域への参加は大きな意味を持つと言えるので、今後の取組に期待したい。		
②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	c
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	
	<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。	
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	
	<input type="checkbox"/> ボランティアに対して母親と子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	
【コメント】 学習ボランティアの来訪が以前はあったが現在は途絶え、ボランティアの受け入れが今後の課題とされている。ボランティアの受け入れに当たっての基本姿勢や取扱い等についてマニュアル等を定め、明確にしておくことが望まれる。		
(2) 関係機関との連携が確保されている。		
①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の母親と子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、母親と子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	
【コメント】 児童相談所、福祉事務所、学校等の関係機関や各種協議会、NPO等の関係団体とは定期又は随時に会合を重ねるなど情報や意見の交換がなされ、連携が図られている。		
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	c
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	○
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 施設のもつ機能を地域へ還元したり、地域の関係機関・団体との連携等を通して、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	○
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> 地域住民に対する相談事業などを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。	
【コメント】 地域の自治会に加入し、地域行事への参加、民生児童委員や子供会活動の施設利用等の取り組みがなされており、今後とも、入苑者のプライバシー保護に配慮しながら取組まれることを期待したい。		

②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	
	<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	○

【コメント】

施設の特徴を踏まえながら、地域との交流、地域防災への取り組み等が始められたところであり、今後は、施設が有している知見や専門職のノウハウ等を活用した公益的な事業の展開活動に期待したい。

### Ⅲ 適切な支援の実施

#### 1 母親と子ども本位の支援

(1) 母親と子どもを尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果
①	28 母親と子どもを尊重した支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、母親と子どもを尊重した支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもを尊重した支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもを尊重した支援の実施に関する基本姿勢が、個々の支援の標準的な実施方法等に反映されている。	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	

【コメント】

「入所者の意向を尊重し、個人の尊厳を守りながら自立を目指した支援を行う」との基本方針の下、虐待やハラスメントの防止、プライバシー保護等の諸規程類を整備し、職員研修や職員会議、毎日のミーティング等で周知、確認しながら支援に取り組まれている。一方で個々の支援の標準的な実施方法を文書としてまとめたものはないので、今後の取組に期待したい。

②	29 母親と子どものプライバシー保護に配慮した支援が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親と子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの母親と子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、母親と子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもにプライバシー保護に関する取組を周知している。	○

【コメント】

プライバシー保護規程を定め、居室への立ち入りを要する場合の事前説明と同意に関することを明確にするなどの措置が採られ、職員会議や毎日のミーティング等で周知・徹底する等個人情報の保護とともにプライバシー保護に配慮した支援がなされている。

(2) 支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
①	30 母親と子どもに対して支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、支援の内容や施設の特徴等を紹介した資料を準備している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の母親と子どもについては、個別に丁寧な説明を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもに対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	○

【コメント】

母子に対する支援利用に関する情報提供については、施設の見学とともに苑のしおりやパンフレットを配布して、理念・基本方針、自立支援の内容等を説明し、周知に努められている。

②	31 支援の開始・過程において母親と子どもにわかりやすく説明している。	b
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもが自らの課題を可能な限り認識し、施設が行う支援について母親と子どもができるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 支援の開始・過程における支援の内容に関する説明と同意にあたっては、保護者等の自己決定を尊重している。	○
	<input type="checkbox"/> 支援の開始・過程においては、母親と子どもの同意を得たうえでその内容を書面で残している。	○
	<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な母親と子どもへの配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	

【コメント】

支援の開始、実施に当たって作成する自立支援計画作成時の母子面談の際から、母子の意向把握・確認に努め、説明し、同意を得たうえで支援を開始され、支援計画の見直し時も同様に説明、同意の手順が踏まれている。意思決定が困難な母子への配慮に係るルール作りが検討課題とされており、その進展に期待したい。

③	32 支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり支援の継続性に配慮した対応を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 支援の内容の変更にあたり、従前の内容から着しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	○
	<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として母親と子どもが相談できるように担当者や窓口を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、母親と子どもに対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	

【コメント】

支援内容の変更等の際は、アセスメント評価とともに母子面談、関係機関との意見交換等がなされ不利益が生じないように配慮されており、地域移行等の退所の際も必要な情報提供、諸手続きの助言や同行支援、退所後の相談受付や家庭訪問等の支援がなされているものの、文書として母親や子どもに渡していないので、今後は口頭だけでなく、書面で行われることに期待したい。

(3) 母親と子どもの満足の向上に努めている。

第三者  
評価結果

①	33 母親と子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもへの個別の相談面接や聴取等が、母親と子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員等が、母親と子どもの満足を把握する目的で、母親と子ども会等に出席している。	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、母親と子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	○

【コメント】

自立支援計画の作成、見直しの際の母子面談、母親の会や各種行事等の実施前後の意見・要望の把握に努められている。一方で、母親と子どもの参画のもとで検討会議の設置等は行われていないので、今後の取組に期待したい。

(4) 母親と子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
	<input type="checkbox"/> 支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を母親と子どもに配布し説明している。	
	<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、母親と子どもが苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、母親と子どもに必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た母親と子どものプライバシーに配慮したうえで、公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○

【コメント】

苦情対応規程が定められ、意見箱への意見等とともに苦情・相談に対応する仕組みが整備され、寄せられた苦情・相談等に対する対応措置についても、プライバシー保護に配慮した公開もされている。一方で、母親と子どもに対して、苦情解決の資料は渡しているものの、積極的に説明を行っていないので、今後の取組に期待したい。

②	35 母親と子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、母親と子どもにも周知している。	c
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもに、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	○

【コメント】

苑のしおり等での説明・周知とともに、意見箱の設置、プライバシー保護に配慮した面談室の整備など相談や意見が述べやすい環境づくりに配慮されている。今後とも、職員誰にでも福祉事務所を初め、施設職員以外の人にも相談等ができることの周知が図られるよう望みたい。

③	36 母親と子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の支援の実施において、母親と子どもが相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、母親と子どもの意見を積極的に把握する取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、支援の質の向上に関わる取組が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	

【コメント】

意見箱の設置とともに、職員からの積極的な声掛け・見守りを行い、相談や要望の把握に努められており、把握された意見・要望等への対処も適切に行われている。一方で、対応マニュアル等の見直しについては定期的には行っていないので、今後の取組に期待したい。

(5) 安心・安全な支援の実施のための組織的な取組が行われている。

第三者  
評価結果

①	37 安心・安全な支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	
	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	

【コメント】

運営規程、虐待防止、事故対応等の規程類が整備され、利用者、職員に周知されるとともに研修、訓練等も定期的実施されているものの、定期的に評価・見直し等は行っていないので、今後の取組が期待される。

②	38 感染症の予防や発生時における母親と子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直ししている。	○
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	○

【コメント】

感染症や食中毒の予防、疾病・怪我への対応、健康診断等の安全確保のための諸規程類が整備され、職員に周知されるとともに医療機関との連携も適切に図られている。一方で、担当者等を中心として定期的に研修会等は実施していないので、今後期待したい。

③	39 災害時における母親と子どもの安全確保のための取組を組織的に 行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	○
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても支援を継続するために 「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 母親と子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知され ている。	○
	<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	○

【コメント】

火災や水害、台風、地震等の災害対応、避難対応マニュアル等が整備され、入所者及び職員に周知されるとともに定期的な避難訓練等が実施されており、食料や備品等の備蓄もなされている。災害時の事業継続計画についても検討が進められており、その進展に期待したい。

## 2 支援の質の確保

(1)	支援の標準的な実施方法が確立している。	第三者 評価結果
①	40 支援について標準的な実施方法が文書化され支援が実施されてい る。	b
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、母親と子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの 保護に関わる姿勢が明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底する ための方策を講じている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがあ る。	

【コメント】

母子生活支援施設運営ハンドブックによる実施方法を基本として、基本動作、電話・来客対応、不審者対応等のマ  
ニュアル類が整備され、職員会議やミーティング等で周知し、支援が行われているものの、標準的な実施方法にもと  
づいて実施されているかどうかを確認する仕組みについては、施設として明確にしていけないので今後の取組に期待し  
たい。

②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
	<input type="checkbox"/> 支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定 められている。	
	<input type="checkbox"/> 支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や母親と子どもからの意見や提案が反映されるよう な仕組みになっている。	○

【コメント】

標準的な支援の実施方法については、定期的又は必要に応じて見直しがなされているが、見直しの時期やその方法  
を明確にしておくことが望まれる。

### (2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。

①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定して いる。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者 も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、母親と子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な支援 の内容等が明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員 (種別によっては組織以外の関係者も)の合議、母親と子どもの意向把握と同意を 含んだ手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な支援が行われて いる。	○

【コメント】

自立支援計画は、関係職員参加の下、これまでの支援の実施のアセスメント評価結果や母子の意向、福祉事務所や  
児童相談所を初めとする関係機関の意見等も踏まえて適切に策定されている。

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、母親と子どもの意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	○

【コメント】

自立支援計画は半年毎又は必要に応じ見直しが行われており、評価、策定の手順等を踏まえ適切に行われている。

(3) 支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 母親と子どもに関する支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく支援が実施されていることを記録により確認することができる。	○
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	○

【コメント】

自立支援計画に基づく支援の実施状況は、日誌記入手順のマニュアル等に従い、適切に記録・管理がなされており、情報の共有も的確になされている。

②	45 母親と子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、母親と子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。	○

【コメント】

運営規程や個人情報保護規程等の諸規程類が整備され、研修や職員会議等で周知が図られ、適切に記録の保存・管理が行われている。

内容評価基準（25項目）

A-1 母親と子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 母親と子どもの権利擁護		第三者 評価結果
①	A1 母親と子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの権利擁護に関する取組が周知され、規程・マニュアル等にもとづいた養育・支援が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。	○
	<input type="checkbox"/> 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、関係機関等と連携を図り対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの思想・信教の自由を保障している。	○
【コメント】		
母子の権利擁護に関する取り組みについては、入所者の意向尊重、個人の尊厳を守り、自立を目指した支援を行うとの運営基本方針の下、運営規程やプライバシーの保護、虐待やハラスメントの防止、苦情処理等の諸規程類が整備されている。また、職員研修や日々のミーティングも徹底され、実践されている様子が毎日の業務日誌の記録等からうかがえる。また、思想・信教の自由にも配慮されている。		
(2) 権利侵害への対応		
①	A2 いかなる場合においても、職員等による暴力や脅かし、人格的辱め、心理的虐待、セクシャルハラスメントなどの不適切なかかわりが起こらないよう権利侵害を防止している。	b
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりがあった場合を想定し、施設長が職員と利用者の双方に事実確認や原因の分析等を行うことや「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みがつけられている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの起こりやすい状況や場面について、具体的な例を示しながら、研修や話し合いを行い、職員による不適切なかかわりを行わないための支援技術を習得させている。	
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの禁止を職員等に徹底するため、日常的に会議等で取り上げ、行われていないことを確認している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員からの暴力や言葉による脅かしなどの、不適切なかかわりが発生した場合に対応するためのマニュアル等を整備し、規程に基づいて厳正に対応している。	
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりや暴力を見たり聞いたりしたら、管理者等に報告することを義務付けている。	○
【コメント】		
虐待やセクハラ等の防止等に関する諸規程、運営規程、就業規則等の整備とともに、身体的、心理的、放棄・放任、経済的虐待等の具体的な事例等も示され、日々のミーティング等で周知・実践に努められていることが業務日誌の記録等からうかがえる。今後とも、職員による不適切な関わり防止に向けた支援技術の習得・実践力向上の取組が継続されるよう期待したい。		
②	A3 いかなる場合においても、母親や子どもが、暴力や脅かし、人格を辱めるような不適切な行為を行わないよう徹底している。	b
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為の防止について、具体的な例を示して、母親と子どもに周知している。	
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為に迅速に対応できるように、母親と子どもからの訴えやサインを見逃さないよう留意している。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為の防止を徹底するため、日常的に会議等で取り上げ、行われていないことの確認や職員体制の点検と改善を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為を伴わない人とのかかわりについて、母親や子どもに伝え、良好な人間関係の構築を図っている。	○
【コメント】		
入所者への日々の声掛け、聴き取り等、入所者からの訴えやサインを見逃さないように努められており、毎日のミーティング等で職員間の情報の共有が図られている。また、虐待等の不適切な行為がなされないよう「苑のしおり」を配布し、日常生活の多様な場面での注意事項について、母の会等での周知も図られているが、母親や子どもに十分に周知できているとはいえないので、今後は不適切な行為等の具体的な例を示す等して、十分に周知、理解が図られるような取組に期待したい。		

③	A4 子どもに対する暴力や脅かし、人格を辱めるような不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりに迅速に対応できるように、子どもからの訴えやサインを見逃さないよう留意している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが自分自身を守るための知識・具体的方法について学習する機会を設けている。	
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりを伴わない子育てについて母親に伝え、良好な親子関係の構築を図っている。	○
	<input type="checkbox"/> 常に親子関係の把握に努め、適切な助言や支援を行っている。	○

【コメント】

入所者の日常生活を支援する中で母子関係の把握に努められるとともに、日常の声掛け、随時の相談・悩みの聴取等に努め、福祉事務所や児童相談所等の関係機関と連携、協力した取り組みがなされている。今後とも、子ども自身が身を守るための知識や方法を発達段階に応じて学ぶ機会が充実することを期待したい。

(3) 母親と子どもの意向や主体性の配慮

①	A5 母親や子どもが、自分たちの生活全般について自主的に考える活動（施設内の自治活動等）を推進し、施設における生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 子ども自身が自分たちの生活全般について、自主的・主体的な取組ができるような活動（施設内の自治会活動等）を母親の理解のもとで実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが問題や課題について主体的に検討し、その上で取組、実行、評価といった内容を含んだ活動を母親の理解と協力のもと実施している。	
	<input type="checkbox"/> 活動を通して、子どもの自己表現力、自律性、責任感などが育つよう必要な支援をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親が自らの権利を学び、自主的に自分の生活を改善していく力を養えるよう支援している。	
	<input type="checkbox"/> 母親の自治会活動等を通して、母親の自己表現力、自律性、責任感などに対する支援を行っている。	○

【コメント】

毎月開催の「母親の会」で苑庭や共用部分の清掃、避難防災訓練の実施、各種行事の企画・実施等の自主的な取組が進められているが、施設として母子の主体性への配慮が不十分との事なので、今後は、これらの取組のより一層の充実・展開に期待したい。

(4) 主体性を尊重した日常生活

①	A6 日常生活への支援は、母親や子どもの主体性を尊重して行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 母親や子どもの自尊心や強みを大切にした支援を行い、自己肯定感が回復し高まるような支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもとに対してストレングスの視点に基づいて、エンパワメントしていく支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 常に母親と子どもの主体性を尊重した支援を通して、その人が力を発揮できるよう支援を行っている。	○

【コメント】

母親及び子どもの心身の状況を踏まえ、本人主体の自主的な日常生活が営まれるよう支援されており、保育園、学校を初め、医療機関・薬局、郵便局・銀行、スーパーマーケット・コンビニ等の地域社会資源の活用のための情報提供等主体性を尊重した支援がなされている。今後とも、これらの取組の充実、強化に期待したい。

②	A7 行事などのプログラムは、母親や子どもが参画しやすいように工夫し、計画・実施している。	a
	<input type="checkbox"/> 母親や子どもが施設での生活を楽しめるような企画を用意している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの主体的な参画を前提とした行事・プログラムを用意している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親向けのプログラムでは、母親が安心して参加し楽しめるように、保育などのサポートを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親や子どもの状況を考慮し、参加しやすいように内容・時間等を工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 行事等の実施後に、評価を行い次回の実施につなげている。	○

【コメント】

母親の会の意見等を踏まえて、ヨガ教室や創作活動の場、各種の季節行事や親子でのお出かけ行事の開催等の年間を通じての支援がなされている。



(5) 支援の継続性とアフターケア

①	A8 母親と子どもが安定した生活を送ることができるよう、退所後の支援を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 退所後の支援が効果的に行われるよう、退所後の支援計画を作成している。	
	<input type="checkbox"/> 退所した地域で安定して暮らすために、必要に応じて退所先の行政機関をはじめ、多様な地域の関係機関や団体とネットワークを形成し、母親と子どもが適切な支援が受けられるようにしている。	
	<input type="checkbox"/> 退所後も電話や来所によって施設に相談できることを母親と子どもに説明し、生活や子育て等の相談や施設機能を活用した(学童保育・学習支援・施設行事への招待等)支援を提供している。	○
	<input type="checkbox"/> 退所後の生活が安定していることを確認するための往訪や架電等の取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて退所先に往訪し、介助や同行・代行等の支援を行っている。	○

【コメント】

退所に際しては、退所先の福祉事務所等への情報提供とともに必要な諸手続きについての支援、退所後の相談受付や訪問面談、各種行事等の開催案内等積極的に支援されている。今後は、退所後の支援がより適切になされるよう退所後の支援計画を明確にし、関係機関等との連携強化を図られるよう期待したい。

A-2 支援の質の確保

(1) 支援の基本

		第三者 評価結果
①	A9 母親と子どもそれぞれの個別の課題に対応して、専門的支援を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもがそれぞれ抱える個別の課題に対して、目的や目標を明確にし計画的で一貫した専門的支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの課題を正しく理解し、親子・家庭のあり方を重視した支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもが、自己の意思で課題を解決できるように個々の気持ちに寄り添った支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 資料等を使いながら、必要な手続きをわかりやすく説明し、必要に応じて職員が機関等への同行及び代弁を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 専門的な支援を行うために、その支援に必要な資格や経験等を考慮した職員を配置し、職員間で連携・協議を行っている。	

【コメント】

母親と子どもの心身の状況を踏まえ、日々の健康管理、健診や予防接種の受診勧奨、服薬管理、通院送迎・同行、一時預かり保育等とともに通園・通学の送迎や学習室での自主学習等の支援が適切になされている。助産師の採用も検討されており、今後一層の支援充実に期待したい。

(2) 入所初期の支援

①	A10 入所に当たり、母親と子どもそれぞれのアセスメントに基づき、生活課題・ニーズを把握し、生活や精神的な安定に向けた支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 入所直後は心理的に不安になりやすいため、信頼関係の構築に心がけ、心の安定に向けた相談支援に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもが安心して施設を利用し、課題の解決に向かえるように、関係機関等と連携して情報提供に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが保育所・学校に速やかに入所・通学できるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、生活用具・家財道具等の貸し出しを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 居室は、母親と子どもが生活するために必要な十分なスペースが確保され、プライバシーに配慮したものとなっている。	○
	<input type="checkbox"/> 身体に障害のある母親や子どもに対しても、安全に生活ができるように配慮している。	○

【コメント】

入所に当たっては、福祉事務所や保育所・学校等の関係機関と連携を密にし、施設見学や面談等を踏まえて自立支援計画が策定され、必要に応じて生活用具の貸出しや日常生活に関する地域資源の情報提供、関係機関への手続き支援などの確な支援がなされている。

(3) 母親への日常生活支援

①	A11 母親が、安定した家庭生活を営むために必要な支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 生活経験に乏しい母親には、職員と共に行うことで経験を補う等の支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 心やからだの健康に不安を持つ母親には、相談に応じたり、医療機関への受診を促したりするとともに、栄養管理等の食生活への支援を行うなど、ニーズに応じた健康管理のための支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、衣服の清潔保持や入浴など、気持ちよく暮らすために必要な衛生面への支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 経済的に安定した生活を送るために、必要に応じて家計の管理、将来に向けた貯蓄等の相談や支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 支援の必要性やニーズに応じて、家事・育児等、日常生活全般について、代行や介助等の支援を行っている。	○

【コメント】

健診や予防接種、医療機関の受診勧奨、通院送迎、服薬管理等の健康管理とともに食材や衣料品購入、積立預金等の家計管理、一時保育や児童の学習支援など生活全般についての支援が的確になされている。

②	A12 母親の子育てのニーズに対応するとともに、子どもとの適切なかわりができるように支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 母親の育児に関する不安や悩み等の発見に努め、その軽減に向けた相談や助言、介助等を行うとともに、必要に応じて保育の提供や保育所へつなぐ等の支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親の状況に応じ、子どもの保育所・学校等への送迎の支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親が子どもを客観的に理解できるように、発達段階や発達課題について示し、適切な子育てやかかわりについてわかりやすく説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 虐待や不適切なかかわりを発見した時は職員が介入し、必要に応じて専門機関との連携を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、子どもが通う保育所や学校と連携している。	○

【コメント】

子どもの健康管理、通園・通学の送迎や同行、一時保育、育児・子育ての悩み相談など、児童相談所や学校等の関係機関と連携を密にして支援が的確になされている。

③	A13 母親が安定した対人関係を築くための支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親が職員とつながっていることを実感できるよう、様々な場面で気軽に声をかけたり、相談に応じるなどの取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を自分の居場所として感じられるように、母親どうしが集うための機会や場を設け、交流を促すなど、関係づくりのための支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 対人関係がうまくできない母親には、母親のペースに合わせた関係性の構築に配慮を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 社会との関係をとることの難しさから対人関係にストレスを生じている場合は、そのストレスの軽減が図られるよう、心理療法を行ったり相談に応じたりしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設内の他の母親や子どもとの間でトラブルが生じたときに、その関係性を修復もしくは改善するための支援を行っている。	○

【コメント】

担当職員制を採用し、悩みや相談に気軽に感じられる仕組みを作るとともに日常の積極的な声掛けに努められている。また、毎月の母親の会の開催等交流の場を設けるとともに必要に応じて心理士等外部の専門職員のカウンセリングを行うなど対人関係の構築に向けた支援がなされている。

(4) 子どもへの支援

①	A14 健やかな子どもの育ちを保障するために、養育・保育に関する支援を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもの成長段階、発達段階に応じた養育支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 放課後の子どもの生活の安定や活動を保障し、活動場所、プログラム等を用意するとともに、日常生活に必要な知識や技術の伝達、遊びや行事等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> DVを目撃した子どもを含め、被虐待児等や発達障害を含む様々な障害等の特別な配慮が必要な子どもに対しては、必要に応じて個別に対応し、子どもの状況に応じた支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親のニーズや状況に応じて、施設内の保育支援や保育所への送迎、通院の付き添いなどの支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設内における養育・保育に関する記録を整備し、支援に役立てている。	○

【コメント】

子どもの心身の状況、発達段階や母親の就労等の状況を踏まえ、一時保育等の見守り、通園・通学の送迎等の子育て支援が的確になされている。今後は、日常生活をより一層豊かなものにするための支援プログラムの充実が図られることを期待したい。

②	A15 子どもが自立に必要な力を身につけるために、学習や進路、悩み等への相談支援を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 落ち着いた学習に取り組める環境を整え、年齢に応じた適切な学習支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 学習の習慣を身につけるとともに、学習への動機づけを図っている。	
	<input type="checkbox"/> 進学や就職への支援について、母親と子ども双方の意向をくみ取り、学校と連携して情報提供を行いながら、具体的な目標を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 学費の負担軽減のため、各種の奨学金や授業料の減免制度等の活用への支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 学習指導のために学習ボランティア等の協力を得ている。	
	<input type="checkbox"/> 子ども一人一人の個性を重視した相談・支援を行っている。	○

【コメント】

学習室での自主学習を基本とし、学習塾への通塾希望者に対する負担軽減措置も採られている。進学等の進路についても、母子の意向を踏まえながら学校と連携して学費負担軽減の諸制度の活用など相談に応じられている。現在も学習ボランティア等の受け入れについて尽力されているものの、協力は得られていないので、今後は学習支援に向けたボランティアの協力が得られるように工夫した取組を望みたい。

③	A16 子どもに安らぎと心地よさを与えられるおとなのかかわりや、子どもどうしのつきあいに配慮して、人との関係づくりについて支援している。	b
	<input type="checkbox"/> 母親以外のおとなにも受け入れられたり、甘えられたりする経験を増やし、おとなとの信頼関係が構築できるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> ボランティアや実習生など、様々なおとなとの出会いの機会を設け、多様な価値観、生き方への理解をすすめている。	○
	<input type="checkbox"/> 悪意や暴力のないおとなモデルを提供することで、おとなに信頼感を持てるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 自分の気持ちをことばで適切に表現し相手に伝えることについて、日常生活の中でその方法を意識的に伝え、その能力が向上するよう支援している。	
	<input type="checkbox"/> 専門的なプログラムに基づいたグループワークを積極的に取り入れている。	

【コメント】

日々の声掛け、挨拶を初め、苑内外での遊びや各種行事、地域行事等への参加など人との関わり合い、交流の機会の確保に努められている。今後は、子どもの発達段階・心身の状況等を踏まえたグループワークやコミュニケーションのスキル向上に向けたプログラムの活用等に期待したい。

④	A17 子どもの年齢・発達段階に応じて、性についての正しい知識を得る機会を設け、思いやりの心を育む支援を行っている。	c
	<input type="checkbox"/> 性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に正確な知識を持って応えている。	
	<input type="checkbox"/> 職員間で性教育に関する知識や、性についてのあり方などの学習会を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 年齢、発達段階に応じて、性についての正しい知識、関心が持てるよう支援している。	
	<input type="checkbox"/> 年齢に応じた性教育の計画があり、正しい性知識を得る機会を設けている。	
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部講師を招く等して、性教育のあり方について学習会などを職員や子どもに対して実施している。	

【コメント】

子どもの年齢・発達段階に応じた性教育や思いやりの心を育む取り組みについては、現在、助産師の採用を検討されており、今後の取組が期待されるが、児童相談所や学校を初め、関係機関や外部の専門家の活用等もしながら支援の充実がなされることを望みたい。

(5) DV被害からの回避・回復

①	A18 母親と子どもの緊急利用に適切に対応する体制を整備している。	a
	<input type="checkbox"/> 緊急時に備えて、夜間でも対応できる体制を構築している。	○
	<input type="checkbox"/> 24時間の受け入れや広域利用など、広く母親と子どもの緊急利用を受け入れている。	○
	<input type="checkbox"/> 役割分担と責任の所在を明確にし、配偶者暴力相談支援センター・警察署・福祉事務所等との連絡調整体制を整えている。	○
	<input type="checkbox"/> 緊急時対応マニュアルを作成・整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 緊急利用のための生活用品等を予め用意している。	○

【コメント】  
母親と子どもの緊急利用については、緊急一時保護受入れマニュアルを定め、福祉事務所や警察等と緊密に連携しながら緊急一時保護等に適切に対処されている。

②	A19 母親と子どもの安全確保のために、DV防止法に基づく保護命令や支援措置が必要な場合は、適切な情報提供と支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 保護命令制度や支援措置・DV相談証明の活用について、情報提供を行うとともに、必要に応じて法的手続きのための同行等の支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 弁護士や法テラスの紹介や調停・裁判などへの同行等、さらに必要に応じて代弁等の支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> DV加害者に居所が知れ、危険が及ぶ可能性がある場合には、母親と子どもの意向を確認した上で、速やかに関係機関と連携し、保護命令の手続きや他の施設への転居等の支援を行っている。	○

【コメント】  
母子の安全確保のためDV防止法に基づく保護命令措置や支援が必要な場合は、警察署や裁判所、弁護士等の関係機関と連絡を密にし、法的手続きのための同行、代弁、事例に応じて他施設への転居等の支援が適切になされている。

③	A20 心理的ケア等を実施し、DVの影響からの回復を支援している。	a
	<input type="checkbox"/> DVについての正しい情報と知識を提供し、DV被害者の理解を促し、自己肯定感を回復するための支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> DVから脱出することができたことを評価し、安心して安定した生活と幸せな未来について、職員と一緒に考え支援することを伝えている。	○
	<input type="checkbox"/> 心理療法を活用し、医師やカウンセラーと情報交換を行いながら、より適切な支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、自助グループや外部の支援団体等の紹介を行っている。	○

【コメント】  
DVの影響からの回復支援については、医師、心理療法士、スクールカウンセラー等の専門家や児童相談所等の支援を受けながら連携して取組がなされている。

(6) 子どもの虐待状況への対応

①	A21 被虐待児に対しては虐待に関する専門性を持ってかわかり、虐待体験からの回復を支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 暴力によらないコミュニケーションを用いるおとなのモデルを職員が示している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもと個別に関わる機会を作り、職員に自分の思いや気持ちを話せる時間を作っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりがかけがえのない大切な存在であることを伝えることや、感情表現を大切にすることで、自己肯定感や自尊心の形成に向けた支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 医療機関や児童相談所などの関係機関と必要な情報の交換を行いながら、より適切な支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 心理療法担当職員によるカウンセリング等の専門的ケアを実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 被虐待児に対する支援の専門性を高めるための職員研修等を行っている。	○

【コメント】  
日々の声掛け、見守り、子どもの態度や様子の把握に努めるとともに、子どもの誕生日等機会ある毎に大切な存在であることを実感できるよう支援がなされている。また、医療機関や児童相談所、学校等と連携しながら外部の専門家も活用した専門的ケアにも取組まれている。

(7) 家族関係への支援

①	A22 母親や子どもの家族関係の悩みや不安に対する相談・支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親の家族関係の悩みや不安を受け止め、相談に応じている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの家族関係の悩みや不安を受け止め、相談に応じている。	○
	<input type="checkbox"/> 家族の中に感情の行き違いや意見の相違がある場合、適切に介入し調整を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、他の親族との関係調整を行っている。	○

【コメント】

母親が抱える子どもの父親や祖父母等の親族等との交流や関わり合い、子どもの発達段階・年齢に応じて子どもとの意志疎通や意見の相違等の多様な悩みや不安等に対し、職員が一体となって傾聴し、相談に応じ支援に取り組まれていることが業務日誌記録等から見て取れる。また、子どもが抱える母親を初めとする親族等との意志疎通や意見の相違等の相談についても積極的に取り組まれている。

(8) 特別な配慮の必要な母親、子どもへの支援

①	A23 障害や精神疾患、その他の配慮が必要な母親と子どもに対する支援を適切に行い、必要に応じて関係機関と連携している。	a
	<input type="checkbox"/> 社会資源の積極的な活用をするための支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 公的機関や就労先、保育所や学校等と連携した支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 精神疾患があり、心身状況に特別な配慮が必要な場合、同意を得て主治医との連携のもと、通院同行、服薬管理等の療養に関する支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 障害や精神疾患がある場合や外国人の母親や子どもへは、必要に応じて公的機関、就労先への各種手続きの支援を行ったり、保育所、学校等、他機関と連携し情報やコミュニケーション確保の支援を行っている。	○

【コメント】

母親の心身の状況、就労状況、子どもの発達段階や年齢等を踏まえ、福祉事務所や児童相談所、医療機関、学校等と連携して、日々の健康管理とともに服薬管理、受診勧奨、通院・通学の同行や送迎等の支援がなされている。また、日常生活を営むうえで必要な買物や交通機関等を初めとする社会資源の利活用、官公署等との関わりや諸制度の活用等についても情報の提供、相談等の必要な支援がなされている。

(9) 就労支援

①	A24 母親の職業能力開発や就労支援を適切に行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親の心身の状況や能力・適性・経験・希望に配慮した支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 資格取得や能力開発のための情報提供や支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 公共職業安定所以外にも、パートバンクや母子家庭等就業・自立支援センター等、様々な機関との連携や調整、必要に応じて、同行や職場開拓等の支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親が安心して就労できるように補完保育(残業や休日出勤時の保育等)、病後児保育、学童保育などを行っている。	○

【コメント】

職業訓練制度を活用した自動車運転免許の取得や適性・希望等に配慮した就労支援とともに一時預かり保育、子どもの登園・登校の送迎や同行などの就労支援がなされている。

②	A25 就労継続が困難な母親への支援を行い、必要に応じて職場等との関係調整を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 職場環境、人間関係に関する相談や助言など、個々に対応した幅広い支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親が望む場合、就労継続のために職場との関係調整を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 障害がある場合や外国人の母親の場合、その心身等の状態や意向に配慮しながら、就労の継続に向けての支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 就労継続が困難な母親を積極的に受け入れている。	
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて福祉的就労の活用を図っている。	○

【コメント】

就労先との勤務条件等の調整や連絡など必要に応じて就労継続に向けた支援がなされるとともに福祉制度の利活用についても配慮されている。今後は、引き続き就労継続が困難な母親の積極的な受け入れ、就労促進に向けての取組に期待したい。